



BUSSELTON JETTY

A Sea of Discovery

バスセルトン ジェティ海中観測所

安全と注意事項

- 階段では走ったり飛び降りたりせず設置の手すりをご利用ください。
- 窓に触ったりたたいたりしないでください。
- 観測所内では、飲食（水を除く）はご遠慮ください。

1. 海中観測所 (UWO)

海中観測所はコンクリートの円柱で、高さ 12m、直径 9 m、50 トンの鉄の補強材、250mm の厚い壁によって建てられています。窓は 100mm の厚いアクリル窓で、1 枚 \$20,000 以上の費用がかかりました。観測所全体の重さは 550 トンです。観測所はヘンダーソン船積み構内で建設され、バスセルトンに牽引船によって運ばれました。そして長さ 18m のボルトを使って海底に安全に設置されました。観測所は合計 3.6 億ドルをかけて建設され、2003 年 12 月にオープンされました。

ジェティの下、波の上

ジェティの橋杭の大部分はジャラの丸太で、長さ 16m で片端を尖らせ海底のライムストーンに 4-5 m 埋め込まれています。梁と上部構造は橋杭の補助と橋のデッキを補強しています。広さ 12m のデッキは、ジェティの橋杭の下のユニークな海の生活に重要な覆いを提供しています。ジェティ近辺では、カモメ、鶺鴒、ツバメ、アジサンなどよく知られた鳥が見られます。

2. 潮間地帯

窓からは満潮（上の窓）、干潮（下の窓）の違いが見られます。バスセルトンでは一日の潮の変動はわずかに 1 m で、世界で最も大きな変動を持つカナダのファンディベイの 15-18m に比べれば、とても小さな変動です。この地域での有機生物にとってはとても厳しい海の環境です。生物は一日中直射日光や空気の休まない乱れの中にさらされています。軟体動物、フジツボのような甲殻類や固い殻を持つ貝類がよくこの区域で見られます。

沿海地域

窓からバスセルトン ジェティの下で成長し棲むものの堆積を見ることが出来ます。ジェティによって作られた覆いの下では、無脊椎動物がコロニーを作ったり、日光を必要とする水中植物や藻類の繁殖が盛んです。

3. バスセルトン

ジェティは、巨大な人口暗礁を形成していて、南はルーウィン潮流から北はケープス潮流によって、注目すべき寒帯からトロピカルな生物の多様性がみられ、知られているだけでも

300種類以上が確認されています。ニシン、イエローテイル、ミナミアジサシの群れが見られます。

4. 中海域地帯

生息する主な無脊椎動物では、海綿動物、コケムシ類、ホヤ、ソフトコーラルなどが見られます。これらがコロニーを形成するには10-12年かかります。堆積から落ちた、突起したロングフィンガーは、ソフト テレスト コーラル（白）とオレンジ海綿に覆われたものの共生によるものです。

注意深く見ると、ヒトデ、ウミウシ、ナマコや岩の割れ目に隠れた小さな魚が見られます。

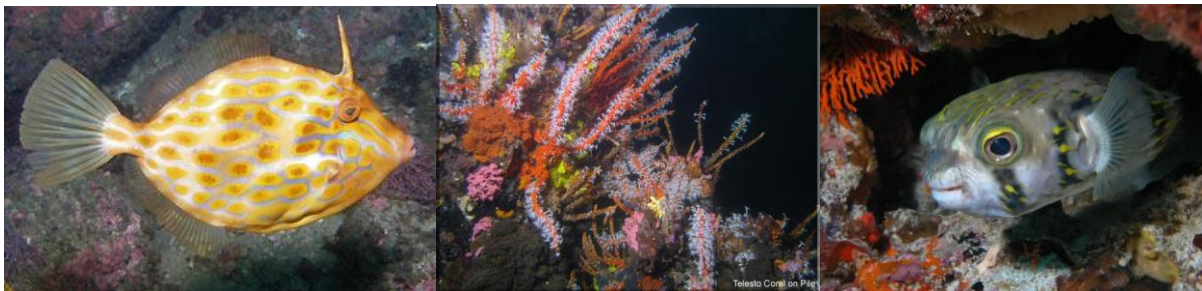
5. 海底

最下部の4つの窓からはジェティの下の構造が見られます。この窓からは冬の嵐で壊れたジェティの残骸が見られます。現在この残骸は、海底に生息する様々な生き物、イカ、タコ、シビレエイ、エイ、ネコザメ、オオセなどを守る隠れ場所となっています。

海草の窓

この窓は、ジェティの構造抜きでジオグラフィベイがどんなものかを見ることが出来ます。窓からは、たくさんの海草が見られ、これらは湾と砂地の85%を覆っています。この西オーストラリアの栄養素が低く砂の多い湾の浅瀬には、世界の3分の2の海草類が生息しています。これらの海草の草地は若い苗の生息や湾に棲む魚のためにとても重要な役割を果たしています。

錨は130年前の物で、ジェティが運営されていた頃に4つあった停泊するための錨の一つです。



モザイク レザージャケット

ジェティの海底

フグ